



**Q 連携型による中高一貫教育について教えてください。**

**A** 中高一貫教育校には、中等教育学校、併設型、連携型の3種類があります。このうち連携型は、既存の市町村立中学校と県立高等学校などが、教育課程の編成、教員・生徒間交流等の連携を深める形で中高一貫教育を実施するものです。福島県では、学校や地域の実態に応じて連携の柱となる教育を設定し、中学校と高等学校の教育課程の連携、人的交流等によって、主体的に学ぶ意欲、豊かな人間性や社会性、望ましい勤労観・職業観等を身に付け、今後の地域社会に主体的に貢献することができる人材の育成を目指しています。

**Q どんな良い点があるのか教えてください。**

**A** 次のような良い点があります。

- 6年間の計画的・継続的な教育により、生徒一人一人の優れた才能や個性を発見して伸ばすことができます。
- 中学1年生から高校3年生までの幅広い年齢層の生徒が共に活動することで、豊かな人間性や社会性を育むことができます。
- 中学校と高等学校が連携し、地域と協力して特色ある教育を行うことができます。

**Q 連携型中学校から他の高校には進学できなくなるのですか。**

**A** そんなことはありません。中等教育学校とは異なり、連携型中学校では、連携型高等学校を選ぶか、他の高等学校を選ぶかは、今まで通り生徒・保護者の選択によります。ただ、連携型中学校から連携型高等学校に進学すれば、6年間の中高一貫教育の利点を最大限に生かすことができます。

**Q 高校入試がなくなると聞きましたが。**

**A** いいえ、入試はなくなりません。入学者選抜方法は後日発表しますが、連携型中学校から連携型高等学校への進学については、今までの高校入試とは異なる入試（連携型入試）が行われることになります。しかし、連携型入試といっても入学者選抜試験なので、必ずしも全員が合格できるわけではありません。なお、連携型中学校以外から連携型高等学校への進学、連携型中学校から連携型以外の高等学校への進学については今まで通りの入試（I～III期選抜）が行われます。

問い合わせ先：福島県教育委員会(☎024-521-7763)  
福島県立埴工業高等学校(☎0247-43-2131)  
福島県立田島高等学校(☎0241-62-0066)  
福島県立相馬東高等学校(☎0244-36-6231)



中高6年間で育む「生きる力」

# 福島県の連携型 中高一貫教育が始まります

平成17年4月、3地域でスタート



平成16年12月

福島県教育委員会





## 教育の特色

- 基礎学力の向上
  - ・中高の教育課程の連携を図り、英語、数学、国語、技術家庭(工業)の交流授業等を行います。
- 環境教育
  - ・中高の「総合的な学習の時間」「特別活動」等で連携します。
  - ・環境教育に関する中高共同行事を開催します。
- キャリア教育(注)
  - ・中高でインターンシップ(就業体験)を実施します。
  - ・高校の「課題研究発表会」へ中学生も参加します。
- ものづくり・情報教育
  - ・工業高校の施設を活用し、中学生の「ものづくり」体験学習を実施します。

## 地域

# 埴

## 連携型高等学校の特色

### 工業科

### 埴工業高等学校～ものづくり 夢・挑戦・感動

進学コースを置き、徹底した少人数教育の下、理工系国公立大学をはじめとする四年制大学への進学希望生徒の夢を実現します。

- 機械科…………… バイク・自動車の構造から、コンピュータによるロボット制御技術まで幅広く学ぶことができます。
- 電子科…………… 高度情報化社会を支えるコンピュータとエレクトロニクス技術を学ぶことができます。

「進路実現12年連続100%」の実績を生かし、各科とも弾力的なカリキュラム編成を行い、生徒の多様な進路希望を的確に把握し、入学生徒一人一人の夢を実現します。

- 基礎学力の向上
  - ・中高の教育課程の連携を図り、数学、英語の交流授業、指導法の研究会、読書指導等を行います。
- 環境教育・福祉教育等を通じた地域理解
  - ・高校のコース別開設講座と中学校の「総合的な学習の時間」との連携を図ります。
  - ・環境教育に関する中高共同行事を開催します。
- キャリア教育(注)
  - ・高校の科目選択ガイダンスと中学校の進路指導の連携を図ります。
  - ・地域における就業体験を行います。



# 田島

### 普通科

### 田島高等学校～自然・人間・共生

- 進学コース…………… 上級学校に進むために必要な教科・科目を深く学ぶことができます。科目によって文系・理系に分かれて学習します。
- 教養コース…………… 幅広い知識を得るために様々な教科・科目を学習します。商業科目では資格取得を目指します。
- 環境科学コース…………… 環境問題を科学的にとらえ、森林や植物の生態、自然の中で生きていく生活技術などを学びます。
- スポーツ科学コース…………… いろいろなスポーツに親しみ、体育の理論を学んだり、専門競技力を向上させたりします。
- 生活福祉コース…………… 介護や福祉について様々な知識や技術を学びます。施設での介護実習を行い、ホームヘルパー2級の資格取得を目指します。
- 情報会計コース…………… 情報処理・簿記会計分野の知識や技術を学びます。簿記、ワープロ、情報処理の資格取得を目指します。

- 基礎学力の向上
  - ・中高の教育課程の連携を図り、英語、数学等の交流授業、指導法の研究会等を行います。
- キャリア教育(注)
  - ・高校の進路指導と中学校の特別活動等との連携で、早期の進路意識形成を促します。
- 地域理解
  - ・総合学科高校の諸系列の特長を生かし、中学校の「総合的な学習の時間」、関係教科等との連携を図ります。

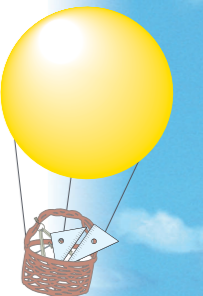


# 相馬

### 総合学科

### 相馬東高等学校～将来の夢に向かう7つの系列

- 人文科学…………… 国語や社会を中心に学習して理解を深め、人文系大学・短大等への進学を目指します。
- 自然科学…………… 自然観察や様々な実験などを行い、自然科学についての理解を深め、科学的知識を身に付けます。
- 生活福祉…………… 家庭科と福祉の学習を通し、家庭生活や高齢社会に対応する知識や技術を身に付けます。
- スポーツ文化…………… スポーツに関する学習を通して、基礎的体力や技能を身に付け、専門性も高めます。
- 国際文化…………… 外国語の基礎力をつけ、コミュニケーション能力を高めるとともに、外国の事情についても幅広く学びます。
- 情報ビジネス…………… 「商業」「情報」の学習を通して、実社会で必要な知識と技術を学習するとともに、多くの資格取得を目指します。
- 芸術文化…………… アート(音楽・美術・書道)の深い世界を学習・体験し、豊かな感性を養います。さらに、芸術系への進学を目指します。



(注)「キャリア教育」…職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育(中央教育審議会答申[平成11年12月])